

# 147 オオノガイ

(オオノガイ科)

兵庫県ランク:B

*Mya arenaria oonogai*

環境省ランク:NT

### 種の概要

北海道から九州に分布。内湾奥部の泥砂質干潟に深く潜って生息する。濾過食。殻長100mm程度。殻は長い卵形で、後端は細くなり開く、左殻は右殻より少し小さい。殻表は光沢のない淡黄白色で、殻皮は淡い茶褐色。内面は白色。左殻の弾帯受けは大きく、スプーン状で水平に突出している。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			○	△			○

### 県内分布

高砂市、姫路市、たつの市、洲本市、淡路市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

AからBに変更。播磨灘沿岸の干潟では「メショウ・オオガイ」と呼ばれ、格好の獲物であった。現在、播磨灘、淡路島北部から中部の東岸の河口干潟や沿岸海域に生息しているが、いずれの産地も生息範囲が限られ、成貝の確認例は非常に少ない。ただし、播磨灘河口や内湾では、殻長10mm未満の稚貝の確認例が少なくなく、若齢期の飼育場として重要な場所としての保全に努める。

### 保護上の留意点

成貝は深場に生息しているようだが、稚貝は河口や内湾干潟においては多数生息している場所もあり、現在分かっている若齢期の育成場としての干潟を維持すること。



写真提供：増田修



写真提供：増田修



【執筆者】 川渕千尋